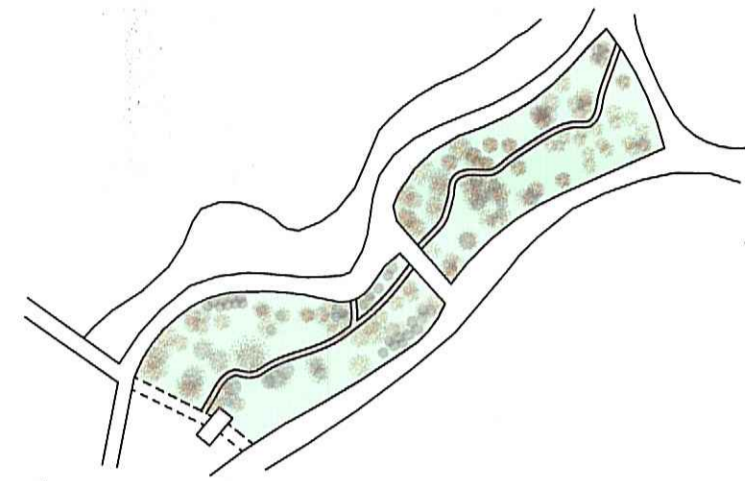


木漏れ日

設計主旨

服部緑地はたくさんの自然があり、様々な年齢の人達に利用されている公園なので、多くの人が親しみやすく周辺との調和を図るために既存の物を傷つけないように設計した。
 敷地内の木と木の間には様々な領域が生まれており、その領域に沿って一辺 1,200 と 2000 の線でデッキを計画した。
 建築物①の一辺 1,200 はパーソナルスペースの固体距離の最大限の幅をとっている。
 建築物①はスポーツ広場に面しており、樹木の密度も薄く、人と人の距離感が近いと考え固体距離を採用した。
 建築物②の一辺 2,000 はパーソナルスペースの社会距離の約中間をとっている。
 建築物②は池側に面しており、樹木の密度が濃く、樹木が薄い壁となり読書をするなど一人の空間になりやすいと考え、社会距離を採用した。
 このように、パーソナルスペースの距離感で構成されたデッキは、自分に合った居心地のいい空間を見つけ、服部緑地ならではの様々な休憩の在り方のきっかけを与えると考えた。

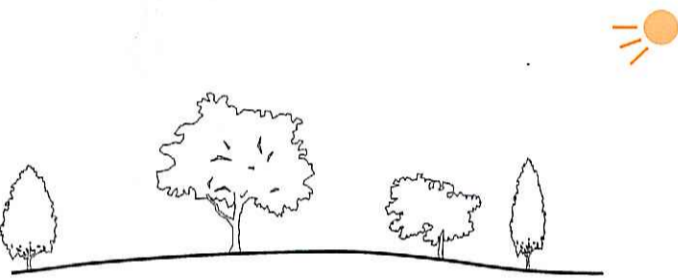
diagram



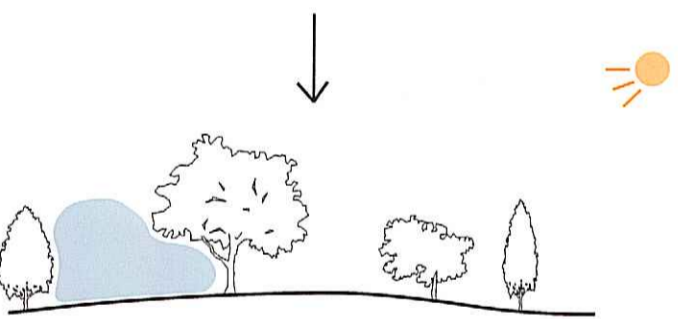
対象敷地にある、既存の樹木の位置調査



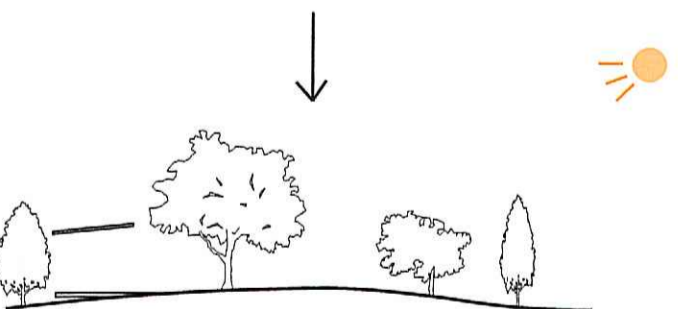
木の位置を調べたことで、木と木の中に元々あった森のポケットが浮かび上がる



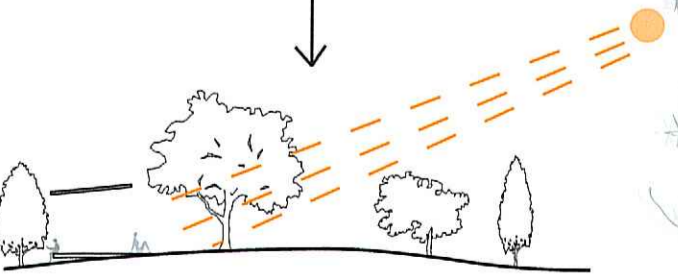
森を断面で見る



縦にも森のポケットが広がっているのが分かる



ポケットにデッキを設置し、木の屋根が無い所にふたをするように屋根を架ける

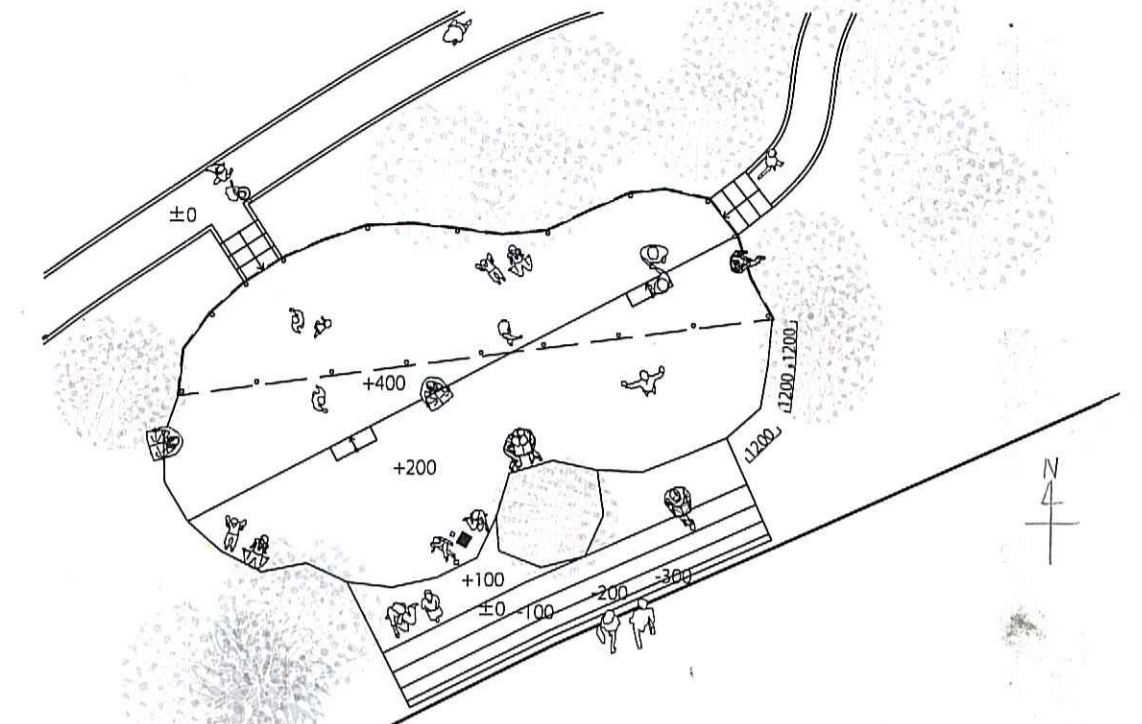


敷地南側にオープンな空間を作ること、木漏れ日を感じながら休憩ができる

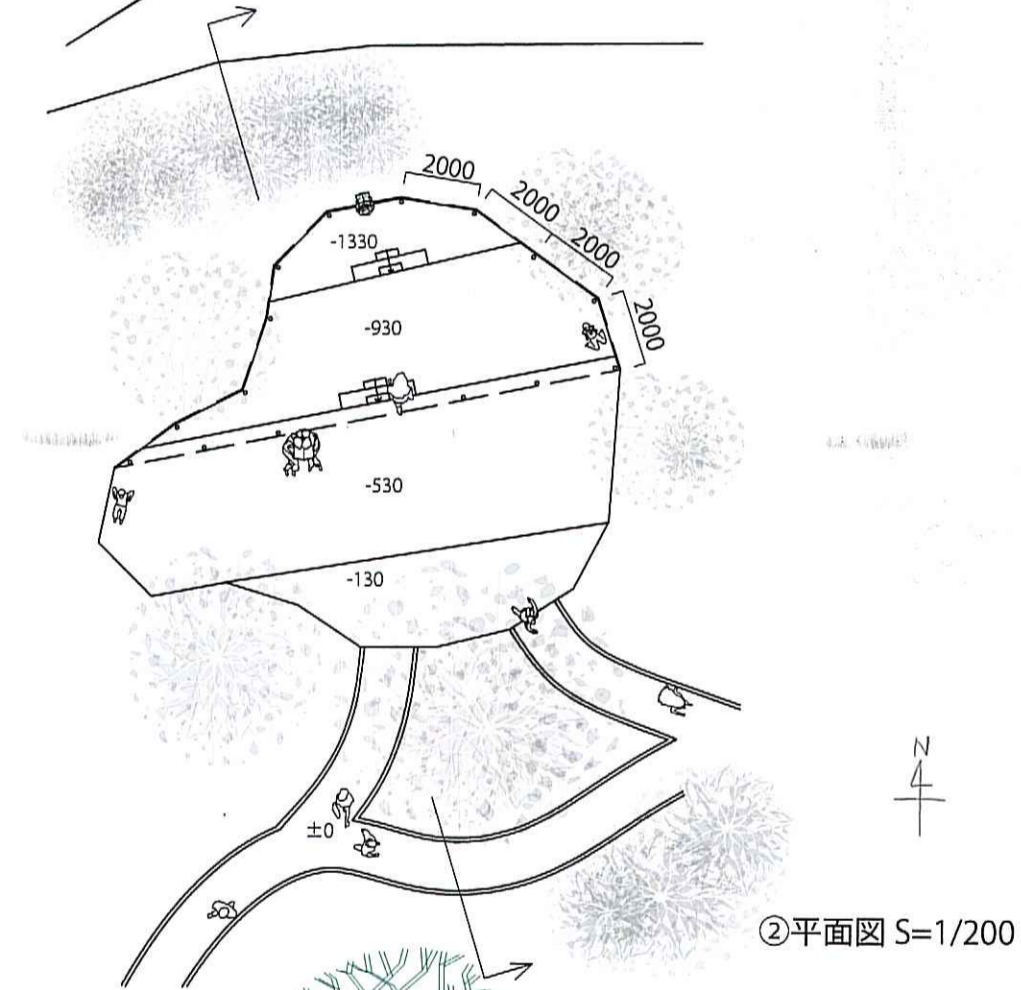


デッキの木材は服部緑地公園内の伐採する木材を使う

配置図 S=1/500



①平面図 S=1/200



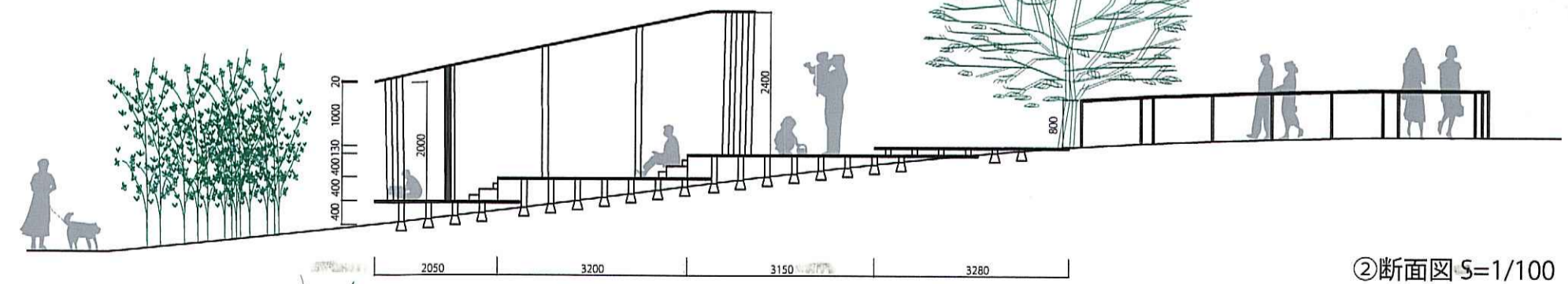
②平面図 S=1/200

建築概要

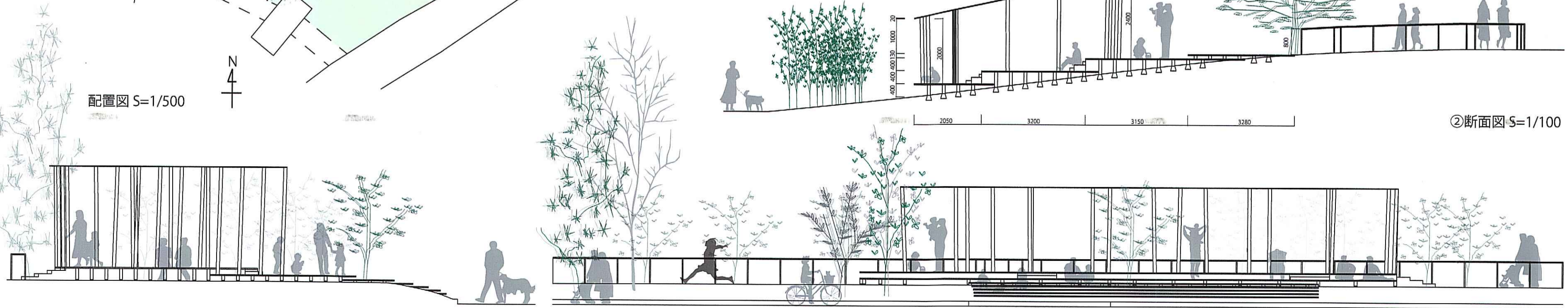
建築面積： ①50㎡
 ②46㎡
 ①+②=96㎡

屋根材： 鉄板 厚さ 20mm

構造： 屋根、柱 - 鉄骨造
 デッキ - 木造



②断面図 S=1/100



①立面図 S=1/100

①立面図 S=1/100